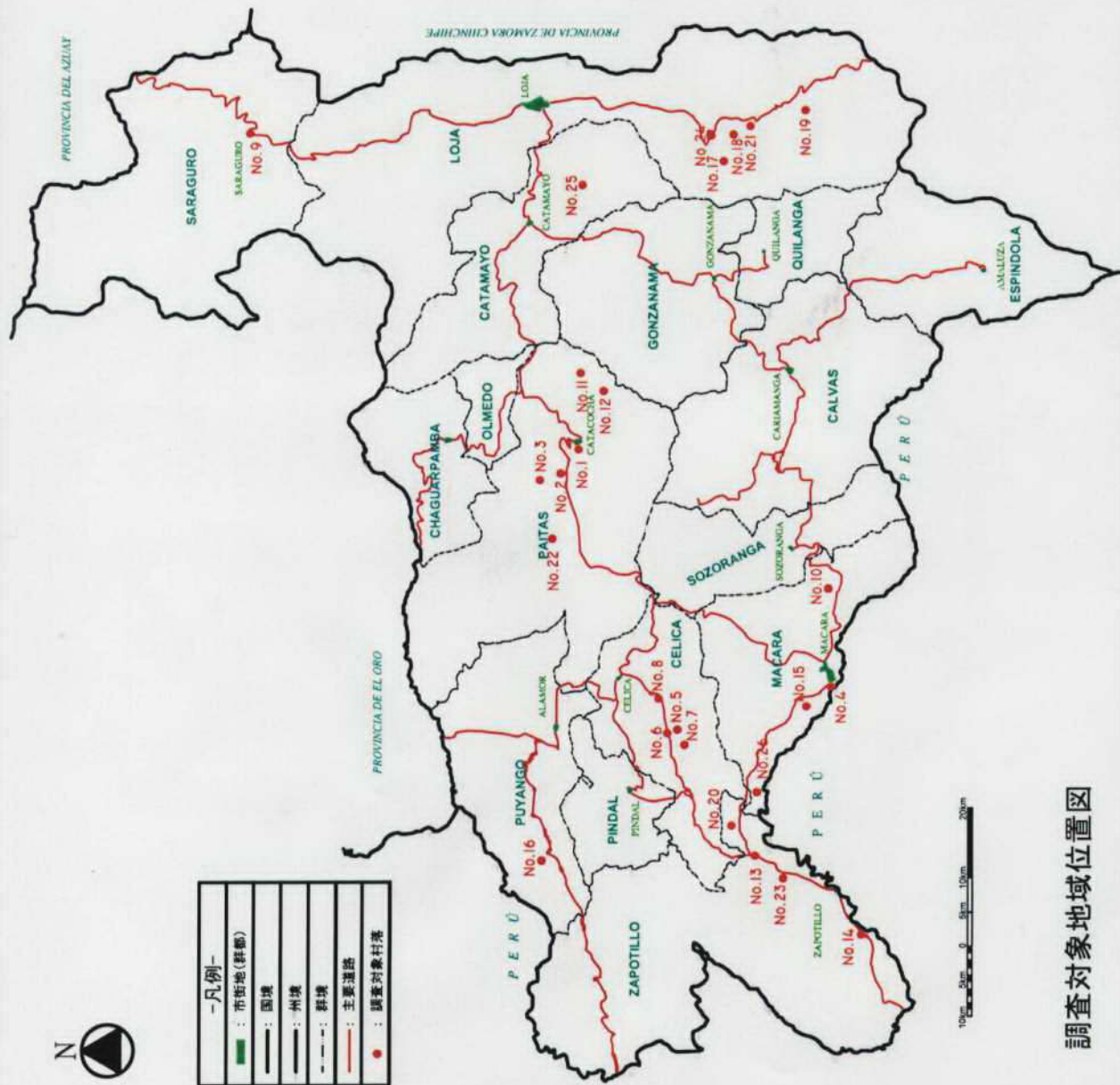
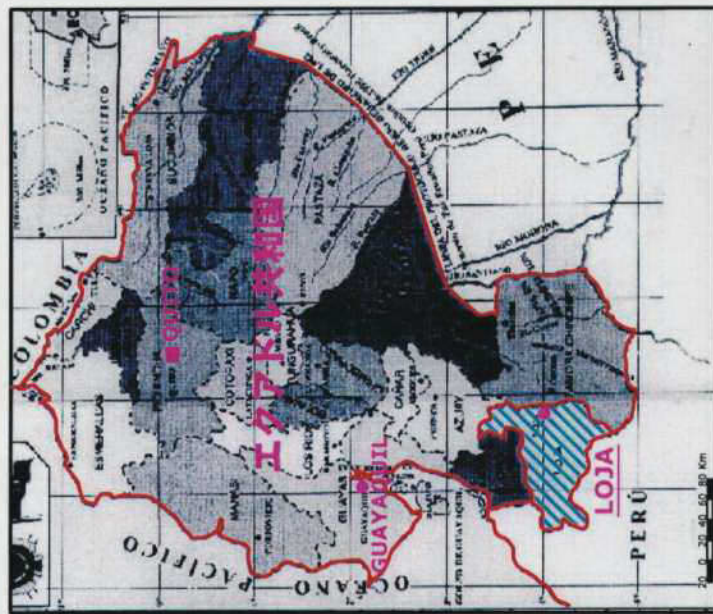
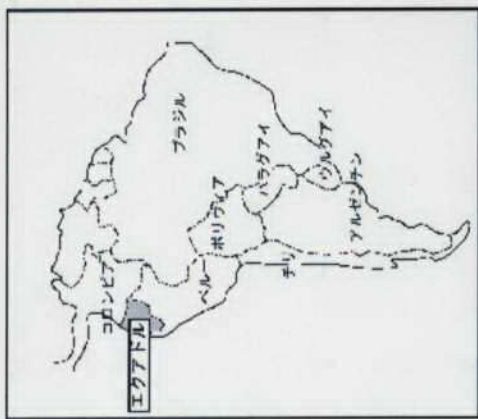




- 凡例 -	
	市街地(群都)
	国境
	州境
	群境
	主要道路
●	調査対象村落



調査対象地域位置図





No.1 Catacocha
Catacocha市内への配水している既存タンク
容量150m³×2
現在1日1時間給水である。



No.1 Catacocha
既存井のコントロール小屋
深度は10mと浅いが水質は良い
調査時にはポンプの故障で稼動していなかった



No.1 Catacocha
既存緩速ろ過池
表流水を引き込んでいる。
エクアドルでは一般的なもののだが、設計に問題がある。



No.1 Catacocha
配水池への送水ポンプ
このポンプの送水能力が少ないため、
水源水量を有効に利用しきれていない。



No.2 Playas
河川沿いにある既存手堀り井戸
深度は約3mで現在は水面は無く使用されていない



No.2 Playas
既存井（深度70m,水深30m）
5年前IESOにより掘削されたがポンプを買えず放置されている



No.2 Playas
Playas川

上流にCatacochaがあり、汚水等で汚染されている
乾季には水量が激減する



No.4 Macara (Centinela del sur)

Macaraにある既存井4本の一つ (10l/sec)
隣接する河川から近く浅いため、表流水を採取して
ると思われる



No.4 Macara (Centinela del sur)

井戸から約2m離れた河川
周辺では畑作が盛んで、農薬が含まれている可能性
がある



No.4 Macara (Centinela del sur)

既存タンク (1,000m³) が位置する丘
井戸からは比高40mほどである



No.6 Patuco

No.5 Zapallalの隣町で同じ上水道系ではあるが、
位置的に下流になるため乾季には届かない



No. Paruco

家庭で使用されている水道メーター
イスラエル製、コロンビア製のメーターが汎用している



No.6 Patuco
上部の砂礫層とレキ岩の境からの湧水
雨期の終わりで水量が一番豊富な時期である



No.9 Saraguro
現場水質分析の様子



No.9 Saraguro
電磁探査の様子



No.9 Saraguro
各戸給水の状況
Saraguro市はインディヘナが人口の約60%を占める



No.9 Saraguro
物理探査側線から対象地区（写真中央部から上より）
そばに50m近くの落ち込んだ谷があり、その上部にあたる



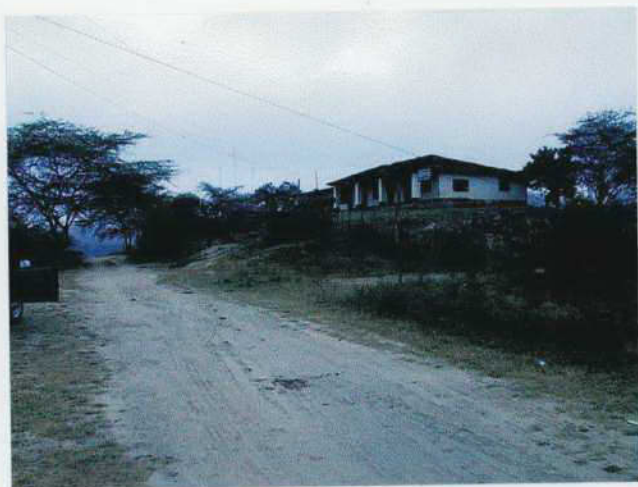
No.9 Saraguro
台地上の地形で平坦な部分が多いため
民家は比較的密集している



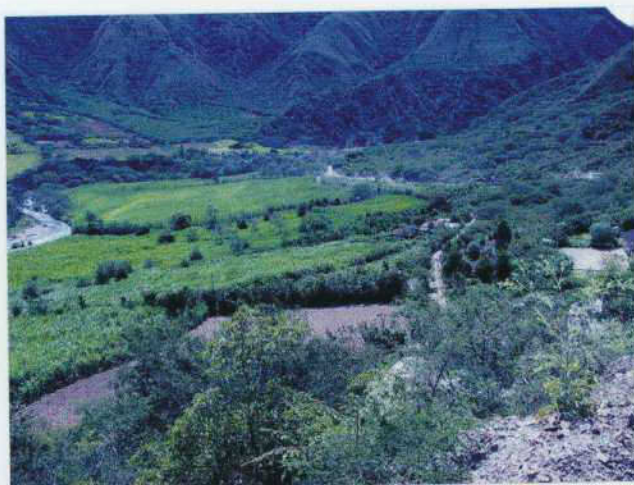
No.13 Saucillo
20世帯が点在し軍の施設が村落に存在する
既存上水道施設はない



No.15 Machangilla
村落から約2km離れたタンク (22.5m³)



No.15 Machangilla
中心部にある小学校
乾季にはかなり水量が不足する



No.18 Linderos
35戸が点在している
給水施設は無く、Villcabambaから流れてくる
河川水を利用している



No.19 Comunidades
急崖の上にタンク (8m³) が存在する



No.19 Comunidades
谷沿いの河川堆積物に位置する村落
さとうきび栽培が主体である



No.21 Los Huicos
住宅地最下部にある共同水洗
Vilcabamba市の配水施設からでは水圧が足りず
各戸給水はできない



No.21 Los Huicos
Vilcabambaに隣接した新興住宅地



ロハ市のセントロ
ピンク色の建物がロハ州審議会



No.21 Los Huicos
井戸建設予定地



給水状況①
深度40mのハンドポンプ
塩分が含まれているので飲用としては使用されてい
ない



給水状況②
村の中心部から10mほど離れたところにある湧水
各戸給水されていない民家はこの水を利用している